

交換留学帰国報告書

記入 | 2024年9月
所属 & 学年 | 人文学研究科M2
卒業予定 | 2025年3月

留学先大学	香港大学
留学先国	香港
留学期間	約9ヶ月 (2年次に留学)
留学開始 - 終了	2023年 9月 1日 - 2024年 5月 21日

A. 留学に至った経緯や留学準備について

①留学する大学や国、プログラムを決めた理由を教えてください。

派遣先の大学はアジアを代表する大学であり、世界中から優秀な学生が集まるため。また、大学院の研究においては中国語文献の収集が必要であったが、同大学の図書館には、英語のみならず中国語の蔵書も多いため。その他、昔から香港映画のファンで、当地の社会や文化に興味があったため。

②留学を志したきっかけや経緯、動機などについて教えてください。

漠然と海外で学びたいという考えから、学部時代から留学を希望していたものの、コロナ禍のため実現しなかった。そのため大学院での留学を決意した。

③留学前の海外渡航経験があれば教えてください。

渡航先	渡航時の学年	目的 & 期間など
フランス	学部3年	観光目的、一週間
タイ	修士1年	観光目的、一週間

④実際に留学準備を始めたのは応募した時期からどのぐらい前でしたか？

大学院に入学してから情報収集などの準備を開始した。

⑤海外留学室での相談内容、参考になったことなどを教えてください。

大学院生として交換留学プログラムを利用した人は必ずしも多くないため、学部生の留学との共通点・相違点についてお話を伺った。

B. 留学前の語学対策や単位などについて

①留学前の語学対策、TOEFLなどの受験回数などについて教えてください。

派遣先の大学が定める語学要件を満たすため、2022年9月にIELTSを一回受験した。Speakingに自信がなかったため、Collinsから出版されているSpeaking for IELTSという教材や、オンラインの英会話教室を通して対策を行なった。

- ②単位取得、単位互換、教職履修などに関するアドバイスをお願いします。

単位認定や成績評価の基準を、大学・学部のホームページや、各授業のコースページでよく確認すること。毎週の講義とは別に実施される少人数制のTutorialや、講義期間終了後のAssessment Period (授業によってはここで期末試験が行われる) など、日本の大学には基本的に無い制度の存在を把握しておく必要がある。

C. 授業や勉強について

- ①留学先で履修した科目と科目コード（例：MKG 2022 Introduction to Marketing）、時間数、形態、授業の内容、履修方法、などについて教えて下さい。

Semester 1

LING2040 Languages in Contact
LING 2058 Topics in Cantonese Linguistics
LING 2061 Linguistic fieldwork
CHIN 9508 Chinese as a Foreign Language VIII (週2コマ、中国語)

Semester 2

BSTC2018 Tibetan language II
LING2060 Languages of China
LING2074 Introduction to second language research
CHIN9512 Cantonese as a foreign language II (週2コマ)

(全て対面、特記がない限り週1コマ、英語開講。制度上、学部生向けの授業しか履修できなかったものの、講義のレベルは高く大変勉強になった。)

- ②授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫を教えてください。

日本の大学と同様、予習復習が重要となる。

- ③学習面で困ったことはありましたか。どのように解決しましたか。

課題やレポート、試験は全て英語で回答する必要がある。教室で行われる試験では辞書も翻訳アプリも使用できないが、普段から講義や課題の中でアカデミックな英語力を培っておけば心配は要らない。

D. 大学生活について教えてください。

- ①現地の雰囲気や大学の校風について教えてください。

香港は交通網も発達しており、街中にはコンビニエンスストアや日系の飲食店も多い。そのため表面的なライフスタイルに関しては、日本の大都市と大差ないかもしれない。大学は、学生及び教員の民族的多様性が高い。香港や中国本土の出身者のみならず、韓国、南アジア、ヨーロッパ、南北アメリカ、アフリカなど様々な地域の人々が学業や研究に励んでいる。

- ② ネット環境、施設、周辺環境などハード面について教えてください。

キャンパスや学生寮ではWi-Fiが利用可能である。香港は中国本土のようなネット検閲が存在せず、VPNを使用しなくてもGoogleやYouTube、InstagramやTwitter等のサービスを利用することができる。なお、キャンパスや学生寮には食堂も存在するが、価格は香港の一般的な茶餐廳（大衆食堂）に比べてやや高い。

- ③ 留学先でどのようにして現地の学生と交流を深めましたか。

香港ではLINEの代わりにWhatsAppが広く用いられている。現地の学生と連絡を取るには、WhatsAppが必須である。香港の大学生は基本的に英語が話せるものの、現地語の広東語も勉強しておくコミュニケーションがスムーズになる（香港人は日本の人名や地名を基本的に広東語の発音で認識しているため。例えば「名古屋」はNagoyaと言っても通じない場合がある。しかし、広東語読みのMing4 Gu2 Uk1なら基本的に通じる）。

- ④ 余暇の過ごし方（授業後や長期休暇など）について教えてください。

大学のキャンパスは香港の中心部に近く、授業後はバスで中環や尖沙咀といった商業地区に赴いた。長期休暇は台湾やマカオなど近郊の地域にも足を運んだ。

E. 健康管理、保険、予防接種など

- ① 健康管理あるいは衛生面について注意していたことはありますか。

特になし。

- ② 留学中に病院へ通った経験の有無、医療費などについて教えてください。

なし。

- ③ 留学するにあたって、予防接種は必要でしたか。

はい（種類：）

いいえ

F. 住居、食事、マナーなどについて

- ① 留学中の滞在先について教えてください。

形態	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 下宿 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
何人部屋	（ 2 ）人

- ② 生活（住居、食生活、服装など）や習慣の違い（マナー、対人関係）、安全面などについて、困ったこと、気をつけていたことがあれば教えてください。

地下鉄は改札内での飲食が禁止されており、注意が必要である。なお、大学の学生寮は空室が慢性的に不足している。このため、学生寮に入れたとしても、その所在地は大学からやや離れたところになる可能性がある。私が住んでいた学生寮は、やや「辺鄙」な地域に位置しており、周辺にはコンビニストアが数件あるのみだった。それでも、バスを利用すれば大学や商業地域まで10分ほどで赴けるため、生活上の不便は殆どなかった。

- ③日本から持参するとよいもの、または持参しなくてもよかったと思うものは何でしょうか。

香港の気候は年間を通して温暖であるものの、夏は強力な冷房がかかっている建物が多い、逆に、冬は暖房が一切かかっていないため、朝や夜は肌寒さを感じることもある。このため上着は持参しておくべきである。なお香港は日経の雑貨店が多く、日本の食品や生活雑貨などは比較的容易に入手できる。しかし、やや高価であるため、日本からいくらか持参しておくとも良いかも知れない。

- ④参考となる留学先国の情報（出版物、webサイト）を教えてください。

吉川雅之、倉田徹編著 (2016) 『香港を知るための60章』 明石書店。

G. 留学費用について

- ①留学費用や支出の管理などに関してアドバイスがあれば教えてください。

食費を抑えること。できれば自炊をするのが望ましい。

- ②奨学金は受給していましたか。

- はい （奨学金名：JASSO 海外留学支援制度（協定派遣）奨学金 支給額：70,000円）
 いいえ

- ③差し支えない範囲で留学費用を教えてください。*内容の費目は自由に変えてください。

内容	金額	備考
渡航費	約82000円	往復、荷物代込み
予防接種・ビザ代	約30000円	ビザ申請費用
住居費	約50000円	一ヶ月あたり
食費	約70000円	一ヶ月あたり
教科書代	0円	

H. 今後の進路や目標、就職活動について

- ①卒業後の進路（進学、就職、その他）について教えてください。

- 進学
 就職
 その他（ ）

- ②今後の進路や目標があれば教えてください。また留学の前後で、進路や目標に対しての考え方や気持ちの変化があれば教えてください。

留学経験の中で培った語学力やアジア文化事情の知識を、ぜひ仕事の中でも活用したいと思う。

- ③留学中に就職活動を行った方は、具体的なエントリー、一時帰国の時期、感想などを教えてください。海外留学生用の就職活動を受けた場合はそれに関する情報もお願いします。

2024年現在は、オンラインで説明会や面接等に参加できる企業も多い。しかし、対面での参加が必須の企業も中にはある。この点に鑑みると、他の学生に比べて就職先の選択肢が幾分狭まるのは認めざるを得ない。

I. 留学を終えて感じること

① 留学を終えて今の率直な気持ちや感想、印象に残っていることなど教えてください。

香港は国際的な金融都市というイメージが強い。実際、街の中心部や大学では基本的に英語が通じる。街行く人々の民族的バックグラウンドも、東アジア系のみならず、フィリピン系、南アジア系、欧米系など多様である。しかし、そうした国際性はあくまでも香港の一つの側面に過ぎない。香港の郊外には昔ながらの漁村や農村も残っている。また、農村でなくても、下町の屋台などでは、広東語オンリーという店が多い。こうした香港の多層性は、現地に長期間滞在しないと、なかなか見えてこないものだと思う。

② 留学したことで、何がどのように変わったと思いますか。

留学先では、現地の学生のみならず、南アジア出身の学生や、欧米出身の学生、香港在住の日本人など、様々な文化的バックグラウンドを持つ人と知り合うことができた。こうした人々に関わる中で、より外交的な性格になったと思う。自分の全く共通点を持たない初対面の人物であっても、気兼ねなく話せるようになった。

③ 現在、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

少しでも海外に出てみたいという気持ちがあれば、是非ともチャレンジするべきだろう。9ヶ月という短い期間であっても、数日間の旅行に比べれば、その土地に対する「解像度」をかなり深めることができる。留学で得られる知識や経験は、人生を豊かにしてくれるものだと思う。

◆自由記述欄◆



1912年に建設された香港大学本部大楼。
現在では周辺の高層建築物に埋もれている。



香港は香港島・九龍・新界の3地区に大別される。
大学の位置する香港島は坂が多い。



ヴィクトリアピーク（太平山）から見た夜景。
観光ガイドにも必ず載っている定番スポット。



映画『恋する惑星』にも登場するエスカレーター。
めちゃくちゃ長い。



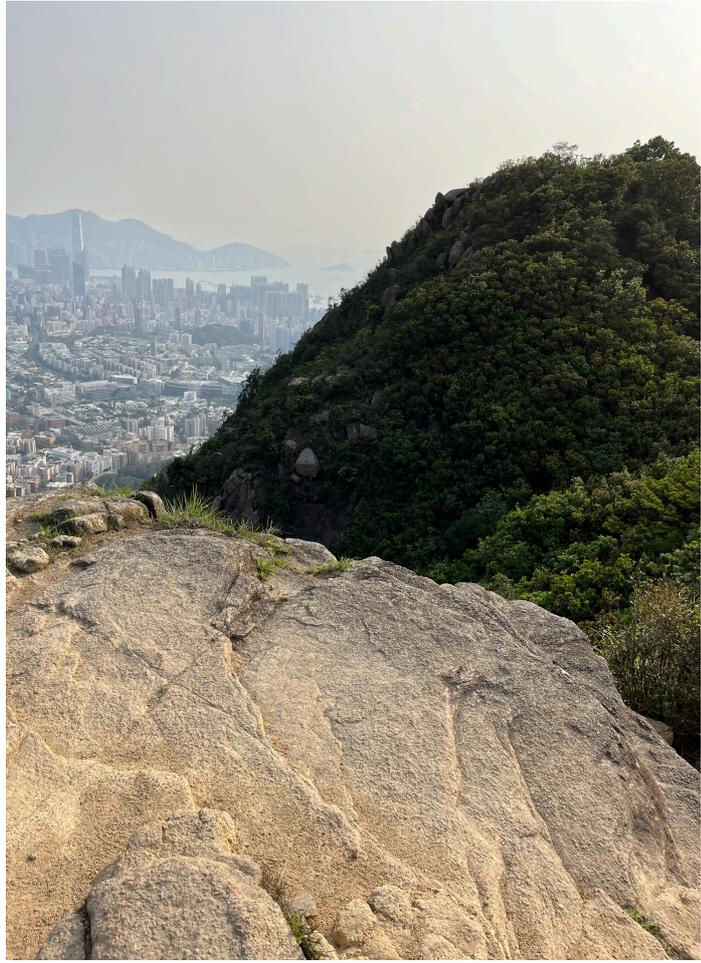
摩天楼やネオンサインだけが香港ではない。
香港の領域の大部分を占める新界には、のどかな風景も残っている。



咖喱魚蛋（カレー魚団子）と撈麵（汁なし麵）。
香港を代表するストリートフードである。



エスカレーターの乗り方について啓発する地下鉄の広告。言語は標準中国語ではなく広東語である。
街中では日本のキャラクターを目にする機会も多い。



香港を象徴する獅子山から望む香港市街。
険しい山に囲まれた香港ではハイキングが盛ん。



以上

香港では旧正月（豊暦新年）を盛大に祝う。